



クラブテーマ
ロータリアンとしての意識向上と奉仕の原点回帰
次年度創立 25 周年を迎える体制づくり

2016.1.18

週報



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ
東京武蔵国分寺ロータリークラブ

第1017回 例会報告

司会：三 枝 正 SAA委員



【 開会点鐘 】

小 林 康 久 会長



【 ロータリーソング 】

『君が代』『奉仕の理想』
ソングリーダー：

中 垣 会 員



【 お客様紹介 】

小 林 康 久 会長



鈴木 隆志 様(東京西 RC)

2014-16 年度 国際ロータリー第 1 第 2 第 3 ゾーン
地域別会員増強プロジェクトリーダー補佐

【 会長の時間 】 小 林 康 久 会長

先般、新年合同新年会を催して、我がクラブの
例会は初めてですね。新年早々遠藤会員にバッチ
を付けられたこと大変うれしく思います。

また、新年早々より小金井警察の武道始式を始
め多数の賀詞交歓会・経営セミナー等に出席させ
て頂きましたが、皆さん挨拶の中でよく言われる
のが今年の経済は激動の年となるとの事、「年始の
北朝鮮による水爆実験を始め、各地でのテロ行
為・中国経済落ち込み株の下落・原油の値下がり
で「中東やソ連」の不況一昨年には台湾総統選挙
に「台湾独立志向に強い」民進党が政権を取る等、
大変な時代を迎えるとの話が聞かれました。

また、その中で特に印象に残ったのが先日国分
寺商工会の新春講演会で、坂本篤彦講師(中小企

業診断士)による「発想の転換」にみる経営のヒ
ントと題しての講演です。講演の中では、

ライアンス戦略の有効活用

「自社にないものは他社と組む」経営統合・
業務提携・企業連携・コラボレーション
不易流行」

時代がどんなに変わっても、変えてはいけな
いもの...時代の変化に合わせて、変えていか
なくてはならないもの...

というお話が印象に残っています。



【 幹事報告 】 高 良 茂 幹事

1月13日(水)2750 地区 R 財団正副委員長会議

1月13日(水)2750 地区

ガバナーエレクト国際競技会ご出席壮行会

1月14日(木)2750 地区 第6回地区大会実行役員

1月14日(木)他団体 国分寺商工会賀詞交歓会

【 委員会報告 】

出席委員会 / 出席報告

角 田 桂 司 委員

会員数 44 名 免除 4 名 有効会員数 40 名

出席者 29 名

メイクアップ済 0 名

計 29 名 出席率 73%

前々回 76% を 84% に訂正



青少年奉仕委員会

小 泉 市 郎 委員長

12月14日公開例会 200 名以上もの参加が
ありました。ご協力ありがとうございます。1
月12日贈答品を確認し、7万円の寄付もして
まいりました。



親睦活動委員会

佐藤喜義 委員長



次の移動例会は、小金井の葦で開催します。
5時半集合6時点鐘です。

クラブ広報・会報委員会

村谷晃司 委員長



R I会長のコラムには、1人1人の地域に根ざした活動が世界のプレゼントになること、また数の力も大事であることが書かれています。本日の卓話とも関連する内容ですのでご一読下さい。

卓話の泉コーナーでは成年後見制度について触れています。判断能力の低下した方を保護する制度ですので合わせてお読みいただければと思います。

【ニコニコボックス】

佐藤喜義 親睦活動委員長

- ・小林 康久 会長
本日の卓話、鈴木隆志様の卓話楽しみにしております。よろしくお願いします。
- ・縄 康雄 会員
遠藤会員再入会を歓迎してニコニコします。
- ・瀬野ちどり 会員
鈴木隆志様、本日は足元の悪い中、卓話にお越しいただきありがとうございます。楽しみにしております。
- ・鈴木 義明 会員
鈴木隆志様、本日は大変寒い中、卓話にお越しいただきありがとうございます。
- ・本多 幸雄 会員
あぶく銭が入ったのでニコニコします。
- ・田畑 哲郎 会員
皆様ご無沙汰しておりました。半年休養させていただきました。「おまえが出るから雪が降るんだ」と言われないようにこれからはぼちぼちロータリー始めます。
- ・遠藤美知子 会員
お久しぶりです。心身共にひと回りもふた回りも大きくなって戻ってまいりました。初心に戻って再チャレンジです。よろしくお願いたします。



* ニコニコ大賞

・金澤 昇 会員

明日72回目の誕生日を迎えます。よくここまで元気にこられました。これも皆様にいじられたおかげです。

【卓話】

講師紹介

プログラム委員会

鈴木 義明 委員長

会員維持増強委員会

瀬野 ちどり 委員長

講師

鈴木 隆志 様



2014-16年度 国際ロータリー第1第2第3ゾーン
地域別会員増強プロジェクトリーダー補佐

<卓話内容の概要>

会員増強は必要でしょうか。このままのクラブの状態5年後のクラブをイメージできますか。クラブの今の状態は満足ですか。会員数は何名が理想でしょうか。

会員の増強なしにクラブの発展はありません。クラブには会員増強委員会がありますが、全会員一人一人に勧誘する責務があります。

会員増強には、常識外の高い目標設定をすることも有効です。例えば現在の会員数は40名だが50周年を機に50人にするといったような目標設定です。

では会員増強するにはどうしたらよいでしょうか。クラブの現状を知ること、地域の特性、クラブの歴史、地域奉仕活動、楽しい仲間・素晴らしい会員など説明できないとなかなか会員増強のスタートを切れません。

仕事においても同じですが、「私のクラブは、この地域で・・・のために存在します」「こんなクラブです」ということを説明できる必要があります。これが整理できたとして、なぜ会員増強が必要なのでしょう。誰のために必要なのでしょう。ロータリー、クラブ、会員自身でしょうか。

会員増強によりクラブの活性化、ロータリーの輪を広げることができます。

「居心地の良い人数」とクラブにとって「本来あるべき人数」というものもありますが、居心地の良さだけを求めることはできません。会員増強が難しくなっているのは、他でも異業種交流の機会が増えたからかもしれません。しかし、ロータリーは他の異業種交流会にはない機会を与えてくれます。ぜひ誘われる本人の為に勧誘するという事も考えていただきたい。

どんな人に入会してもらいたいですか。会員選考を厳しくするという考え方もありますが、特色に沿った人に入ってほしいとおもいます。ただし、クラブの伝統を承継しながらも将来のクラブ像を考えていただきたいと思います。10年前の企業の株価は変わるのと同様、職業分類についての固定観念はとりはらって柔軟に考える必要もあります。

クラブ戦略を立てるには、短期集中で会員を増強し、あとはクラブ奉仕に重点を移したほうがよいといえます。

増強方法としてはリーフレット、ホームページ、同好会、オープンセミナーなども考えられますが、最大の手法は、皆さんがどうやって(何故)このクラブに入ったかを思い出すことです。

特別例会開催、増強チームの結成、候補者リスト作成なども行われていると思いますが、会員維持と並行して奉仕活動、親睦、例会の充実などによりクラブの活性化を図っていく必要があり、奇策というものはありません。

高い率は1から2年が多く、3から5年で減少し、5年以上から増えていく傾向にあります。会員維持のための活動としては、卓話の充実、親睦へのアイデア、炉辺会合、会社訪問、職業奉仕の冊子などが考えられていますが、公開的な奉仕活動、会員維持、クラブ奉仕(親睦、イベント、同好会)のサイクルの中に会員増強を盛り込んでいくとよいといえます。

以上



謝辞 小林 康久 会長



【閉会点鐘】

小林 康久 会長

東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長:小林 康久 幹事:高良 茂

クラブ広報・会報委員会 委員長:村谷 晃司 副委員長:佐藤 喜義 委員:尾崎 幸信 櫻井 健生 鈴木 孝和

例会場 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8F Lサロン飛鳥

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F